

社団法人 日本循環器学会
2010 年度評議員会 議事録

日 時 2011 年 (平成 23 年) 4 月 17 日 (日) 14 時～17 時
場 所 大阪国際会議場 (10 階 1003)
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5-3-51
TEL : (06) 4803-5555 (代表)
議 長 鄭 忠和 (社団法人日本循環器学会会長)

評議員現在数 : 250 名
出席評議員数 : 240 名 (内、書面による議決権行使者数は 142 名)
欠席評議員数 : 10 名
その他出席者 : 名誉会員 1 名、特別会員 2 名

I. 議 事

- 第 1 号議案 2010 年度事業報告の件
- 第 2 号議案 2008・2009 年度会費未納による退会会員報告の件
- 第 3 号議案 2009 年度決算報告 (追認) の件
- 第 4 号議案 2010 年度収支補正予算の承認の件
- 第 5 号議案 2011 年度事業計画及び収支予算の承認の件
- 第 6 号議案 処分規程の改定の承認の件
- 第 7 号議案 会員資格に関する処分についての承認の件
- 第 8 号議案 一般社団法人への移行 : 新定款・定款施行細則の承認の件
- 第 9 号議案 2011 年度就任新評議員・新正会員代表の選任の件
- 第 10 号議案 循環器専門医制度についての承認の件
- 第 11 号議案 委員会報告の件
- 第 12 号議案 新名誉会員・新特別会員の承認の件
- 第 13 号議案 第 76 回・第 77 回学術集会会長挨拶
- 第 14 号議案 副理事長設置に関する承認の件
- 第 15 号議案 その他

II. 議事の経過及び結果

定刻になり、第 76 回鄭会長から評議員現在数及び出席評議員数を報告、定数を満たしたので会議の成立が確認され、定款第 26 条の定めにより鄭会長が議長となり開会。資料にある 39 名の物故会員と東日本大震災で亡くなった被災者に対し黙祷が捧げられた。続いて下川宏明理事から震災後の東北の現状報告を行った。

続いて議長から松崎益徳理事長の欠席が報告された。また、第 14 号議案の「副理事長設置に関する承認」について報告があり、賛成多数で承認された。続いて副理事長候補として小川久雄理事が推薦され、賛成多数で承認された。

第 1 号議案 2010 年度事業報告

議長から、2010 年度における事業の概要について資料のとおり報告され、賛成多数で承認された。

第 2 号議案 2008・2009 年度会費未納による退会会員報告

議長から、2008・2009 年度の会費未納会員について経過が説明され、会費未納会員の退会について賛成多数で承認された。

第 3 号議案 2009 年度決算報告(追認)

議長から、2009 年度会計について、2010 年度第 1 回理事会にて承認され、会告にて会員へ通知している旨報告があり、圧倒的多数で追認された。

第 4 号議案 2010 年度収支予算の修正

議長から、事業や内容の見直しに伴い行った収支補正予算について、2010年度第3回理事会で承認された旨説明があり、圧倒的多数で承認された。

第5号議案 2011年度収支予算の承認

議長から、2011年度収支予算について、2010年度第4回理事会で承認されており、また当年より平成20年会計基準を導入した旨説明があり、多数の挙手により承認された。

第6号議案 処分規程の改定の承認

松原医道委員長から、処分規程改定の要点について説明が行われ、2010年度第3回理事会にて承認された改定案について、圧倒的多数の挙手にて承認された。

第7号議案 会員資格についての処分についての承認

松原医道委員長から、2011年2月16日に本会理事長が医道委員長に対し、会員が国際会議出席に際して本会に対して旅費を負担させたことが本会旅費支給内規に違反するとの申立てを行ったことが説明された。

続いて下川調査委員長と松原医道委員長より報告が行われ、被申立人の本会員を含む複数の評議員による質疑応答と議論が行われ、挙手による採決を行った結果、議決権行使書と出席者数を合算した総数236のうち、賛成180、反対42、棄権14で本会員の処分が決定した。

続いて室原国際交流委員長から、APCC2009収支およびWHF役員選出経緯について調査予定の報告が行われた。

第8号議案 一般社団法人への移行：新定款・定款施行細則の承認

議長から、一般社団法人へ移行が報告された上で、移行するための定款および定款施行細則の案が提案された。なお定款案第2条の本部事務所所在地については、今後あり方委員会にて検討されることが併せて報告された。

定款案および定款施行細則案について、事務局所在地の検討も含めて、賛成多数で承認された。

第9号議案 2011年度就任新評議員・新正会員代表の報告

議長から、65歳定年制により2010年度で退任する評議員および正会員代表の補充として選出された2011年度就任評議員および正会員代表が資料の通り報告され、賛成多数で承認された。

第10号議案 循環器専門医制度について

島田専門医制度委員長から、2011年4月1日認定の循環器専門医と2011年4月1日指定及び指定更新となる研修・研修関連施設について資料の通り報告があり、賛成多数で承認された。

第11号議案 委員会報告

議長から、2010年度の各委員会活動について資料のとおり報告があり、一括して賛成多数で承認された。

第12号議案 新名誉会員・新特別会員の承認

議長から、2011年度の名誉会員として堀正二先生・小川聡先生を、特別会員として相澤義房先生を理事会が推薦している旨報告があり、賛成多数で承認された。

第13号議案 第76回・第77回学術集会会長挨拶

第76回学術集会鄭忠和会長より第76回学術集会について報告がなされた。

また、第77回学術集会水野杏一会長から2012年度開催の挨拶があり、2013年3月15日（金）から3月17日（日）にパシフィコ横浜で開催予定であることが報告された。

また第78回学術集会会長に、永井良三先生（東京大学循環器内科）が承認された。

以上について賛成多数で承認された。

第14号議案 副理事長設置に関する承認

議長から、震災を含む緊急事態等の外部要因が急激に増加し、重要な審議事項を遅滞なく処理するために、限定的に副理事長を置くという提案があり、副理事長候補として小川久雄理事が推薦された。こ

れについて、賛成多数で承認された。

また議案以外の確認事項として、学術集会運営委員会山岸正和委員長より、第 75 回学術集会の抄録は、抄録 CD-ROM に掲載された時点で業績とすることで進めており、他学会で全く同一の抄録を発表されることは控えていただきたいとの発言があった。

抄録著作権や発表機会に関する課題や、第 75 回学術集会が中止になった時点で演者への救済措置的に他学会でアクセプトされた抄録は、内容を少し修正すれば著作権は問題にならない、といった意見が出された。

以上をもって本日の議事を終了し、議長が長時間の協力に謝辞を述べて閉会した。

上記の議事の経過及び結果を明らかにするため、この議事録を作成し議長ならびに議事録署名人、これに署名押印する。

2011 年 4 月 17 日

社団法人 日本循環器学会 2010 年度評議員会

(署名)

(捺印)

議長 鄭 忠 和

議事録署名人 小 川 久 雄

同 水 野 杏 一

(以下余白)